

埼玉県農業信用基金協会

1 埼玉県の紹介

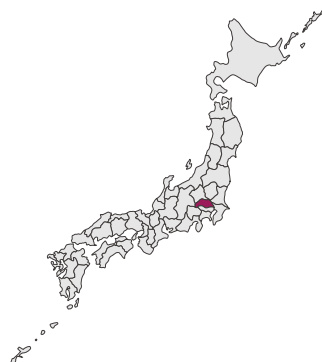
埼玉県は、海のない内陸県であり、全域が都心から100km圏内にあります。

人口は約733万人で全国の5.9%を占め全国第5位であり、平均年齢は46.8歳と全国で7番目に若い県となっています。

面積は3,798km²で国土面積の約100分の1であり、県土面積に占める河川の割合は3.9%で全国第2位です。

内陸性の太平洋側気候、温暖で比較的、自然災害が少ない気象条件にも恵まれ、全国有数の農業県でもあります。甘くて柔らかい「深谷ねぎ」やコクと旨味のある「狭山茶」などの特産品は、品質の高いブランド農産物として知られています。

そして、本県には、実業家として近代日本経済の礎を築き、新1万円札の肖像となった「渋沢栄一」、江戸時代に盲目の国学者として活躍した「塙保己一」、日本初の公認の女性医師となった「荻野吟子」といった三偉人をはじめ、私たちの心に深い感銘を与



え続けている多くの先人もいます。

スポーツについても、サッカー（浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャ）や野球（埼玉西武ライオンズ）、ラグビー（埼玉パナソニックワイルドナイツ）など地域に密着した数多くのプロスポーツチームがあり、一流選手と身近に触れ合える機会にも恵まれています。

映画「翔んで埼玉」ではディスられたり、「ダサイたま」と揶揄されることもある埼玉県ですが、実は魅力いっぱい勢いのある県です。

2 埼玉県の農業

埼玉県の農業は、恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中央に位置する「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な生産が行われており、令和4年の農業産出額は1,545億円です。

特に、野菜は産出額が744億円で全国第9位であり、産出額日本一のさといも（44億円）をはじめ、産出額2位のねぎ（133億円）、ほうれんそう（73億円）等、多くの野菜が全国トップクラスです。

また、小麦（7億円 全国第8位）、花き（160億円 全国第7位）、茶（12億円 全国第7位）等も全国有数の産地となっています。

そのほかにも、埼玉県には、主に埼玉で

しか栽培されていない特徴ある農産物もたくさんあります。ぜひ一度、美味しい農産物を知って・買って・食べてみてください。

<埼玉ならではの農産物>

- ・野菜 [いちご（かおりん、あまりん、べにたま）、さといも（丸系八つ頭）]
- ・果樹 [日本なし（彩玉）、ぶどう（ちちぶ山ルビー）]
- ・狭山茶
- ・米（彩のかがやき、彩のきずな）
- ・畜産物（彩の国黒豚、彩さい牛、彩の国タマシャモ）など



いちご（かおりん・あまりん・べにたま）



さといも（丸系八つ頭）



日本なし（彩玉）



ぶどう（ちちぶ山ルビー）

3 埼玉県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事14名（うち常勤2名）、監事3名、職員16名（臨時職員、派遣職員を含む）で、総務部、事業部の2部体制で業務運営を行っています。



4 埼玉県農業信用基金協会の活動

当協会では、農業資金については、保証料減免を行うなど農業者等が保証を利用しやすい制度運用に努めるとともに、信連主催の農業資金研修会に参画する等、関係機関と一体となった農業関連資金の利用拡大に努めています。

一方、生活関連資金については、他保証機関との競合により、協会保証利用率が低迷しており、「新規保証の伸長に向けた取組」として、JA等融資機関の個別訪問を行い、当協会に対する意見・要望の聴取や基金協会保証の優位性のPRを行う等、協

会保証付融資の利用促進を図っています。

また、本年9月に稼働した「保証審査システム」の効果的な活用により、保証審査の的確化・迅速化に努め、より一層の保証伸長を図るとともに、引き続き代位弁済の未然防止を図ることとしています。

今後も、関係機関との連携を一層強化し、農業者等に対する信用補完機関として、農業者等が必要とする資金が迅速かつ円滑に融通されるよう役職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。